

補正予算 1518万7千円を追加

総務管理費には、個人番号カード交付事務負担金522万4千円（国から受託）、コミュニティ設備補助金230万円（宝くじ助成）が追加された。教育費には、「地域に学び・語り継ぐキャリア教育」推進事業12万4千円（県から受託）と「シニアと学校を結ぶセカンドライフ塾」事業70万円（県から受託）が追加された。

質疑あれこれ

工事請負契約（豊小講堂 改修工事）の締結

問 天井が崩落した学校があったが、その調査はされているか。

トイレ工事もあるが、どのような工事になるのか。段差のないバリアフリーとしてはどうか。

答 現在調査中であり、原因は明らかになっていない。

今回の工事は、非構造部材の耐震化対策の工事である。トイレの段差解消については考えていない。

一般会計補正予算

個人番号カード交付について

問 通知カードの発送と作成、個人番号カードの交付は何人分想定しているか。

答 通知カードは、全住民を対象としている。個人番号カードは希望者が受け取る

ので、想定できない。

問 年金機構の情報漏れを受け、豊山町としてどのような進めていくのか。

答 不審なメールなどに気をつけるよう、情報管理の徹底を職員に注意喚起した。

また、個人データはサーバーで保存しており、情報を抜き取られる心配はない。今のところ予定通り10月に通知を発送予定である。

小学校費について

問 「地域に学び・語り継ぐキャリア教育」推進事業とは。

答 地域の方々からお話を聞いたり、体験したりして、子どもたちが働くことや自分の生き方について考えを深める。深めた考えを下級生に語り継ぐ。今年度は、志水小学校が対象である。

問 具体的には、どんな活動か。

答 日本文化である「和菓子作り」や「魚の調理の仕方や流通について」学ぶ。

※「和菓子作り」は、6月9日、6年生全員が、秀清堂店主渡邊勝利さんの指導を受けて、体験した。

社会教育費について

問 「シニアと学校を結ぶセカンドライフ塾」事業では、どんな事をするのか。

性やボランティアの心得について講習、先進地視察、豊山町の歴史や文化財等についての勉強、各小学校の行事への参加。放課後子ども教室（豊小）にセカンドライフ実践塾生として参加。まとめとして、平成28年1月愛知県主催「地域デビュー支援フォーラム」で活動を発表する。



和菓子作り体験